学年	高校2年	教科	地歴公民	科目	倫理	単位数	3
教科書名	詳述倫理（実教出版）			副教材名	2022 ブームアップ公共資料（実教出版）		
コース・クラス	選抜・N進文系						

I 目標

1. 3年次の基礎学力到達度テストに対応できる実力を養う。
2. 青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高めさせる。
3. 倫理・公共などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究させる。
4. 他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

II 授業のねらい

1. 青年期における自己形成について関心を高め、人格の形成と他者と共に生きる主体としての自己の確立に努める。
2. 人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し、広い視野に立ち、公正な判断ができるようにする。
3. 進路目標に即した問題演習を行うことで、各コースの目標進路に対応できる学力を目指す。

III 授業の進め方

1. 毎時間、冒頭に時事問題を取扱い、世の中の動きをつかむ。
2. 板書を軸とした講義に加え、電子黒板や図表も活用し、効率的に授業を進める。
3. DVDや図表を効果的に活用し、視覚から理解を深める。
4. 小テストを実施し、理解度を確認すると共に、単元ごとに基礎学力到達度テストレベルの問題を解く。

IV 学習上の留意点

1. 倫理への関心・意欲を高めるような内容を授業に盛り込む。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚えること。
3. 板書の書き写しだけではなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけること。

V 定期試験

- 1学期 中間試験 【第1章（自己形成と自己の生き方）～第2章（第1節：ギリシア思想）】
- 1学期 期末試験 【第2章（第2節：キリスト教）～（第4節：仏教）】
- 2学期 中間試験 【第2章（第5節：中国思想）～第3章（第1節：人間の尊厳）】
- 2学期 期末試験 【第3章（第2節：科学・技術と人間）～（第4節：社会と個人）】
- 3学期 学年末試験 【第3章（第5節：近代的人間の見直し）～（第6節：現代の暴力に抗して）】

VI 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

Ⅶ 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第1章 自己形成と自己の生き方 第1節 青年期の課題と自己形成		<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質、青年期の意義について理解する。 葛藤や欲求不満など自己形成の課題について理解する。 自己の生き方について考察する。
	5	第2章 人間としてのあり方生き方 第1節 ギリシア思想	小テストの実施	<ul style="list-style-type: none"> ソクラテスの考え方や生き方、プラトンとアリストテレスの考え方、エピクロス派やストア派について理解する
	6	第2節 キリスト教 第3節 イスラーム 第4節 仏教	中間試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> 古代ユダヤ教の教えについて理解する。 キリスト教の成立とその後の発展について理解する。
	7	1. 仏教以前のインド思想 2. ブッダの教え	小テストの実施 期末試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> 成立の背景やイスラームの特徴について理解する。 バラモン教成立の背景、ブッダの教えについて理解する。
二学期	9	第5節 中国思想		<ul style="list-style-type: none"> 孔子の教え、儒家思想の教え、老荘思想について理解する。
	10	第3章 社会・世界と人間としてのあり方生き方 第1節 人間の尊厳 第2節 科学・技術と人間	小テストの実施 中間試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> ルネサンスの特徴、ルターやカルヴァンの思想、宗教改革、モラリストの思想について理解する。 近代の自然科学、機械論的自然観を理解し、それらが与えた影響について考察する。
	11	2. 新しい学問の方法 第3節 民主社会と自由の実現		<ul style="list-style-type: none"> ベーコンとデカルトの思想について理解する。
	12	第4節 社会と個人 1. 個人と社会との調和	小テストの実施 期末試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> 社会契約説、カントとヘーゲルの思想について理解する。 思想家アダム・スミスや功利主義を主張したベンサム、ミルの思想について理解する。
三学期	1	第5節 近代的人間の見直し 1. 主体性の再定義 2. 近代的な「私」の問い直し		<ul style="list-style-type: none"> 実存主義について理解する。
	2	第6節 現代の暴力に抗して 3. 暴力のなかで -公共性、正義、共通善の実現	小テストの実施	<ul style="list-style-type: none"> 戦後、経済的な繁栄のなかでの「平和」について考察する。 公正としての正義について考え、現代の社会を多角的にとらえて考察する。
	3		学年末試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> 近代の理性的な思考について理解する。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。